

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和2年12月16日

協議会名:須崎市離島航路確保維持検討協議会

評価対象事業名:離島航路運営費等補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
須崎市	坂内～埋立航路の運営	<p>外国人遍路客に向けた取り組みとして、利用者が多い埋立及び坂内乗り場へ英語表記の乗り場案内看板を設置済みであり、外国人の乗客には翻訳アプリで対応をおこなっている。</p> <p>観光面での取り組みとしては、県内外の旅行関係者向けに貸切運航のPRを実施したことにより、貸切運航の回数は前航路年度から倍増した。</p> <p>また、元日に実施した坂内～鳴無間の臨時運航では、延べ744人(切符不要幼児54人含む)の利用があり、新聞社、テレビ局、県へのプレスリリース等による広報の効果が見られた。</p>	A 計画通り事業は適切に実施された。	B 一般及び定期利用をあわせた目標旅客数は、3,768人に対し実績は3,807人と39人上回った。運賃収入は、1,017,850円の目標に対し、実績793,190円と224,660円下回った。貸切運航では、目標額50,000円に対し、運航回数12回で、目標額を大幅に上回る230,000円の実績であった。	<p>定期航路での一般利用については、引き続き遍路客に向けた情報発信をおこなう。</p> <p>観光面では、関係団体等と連携し、貸切運航の受け入れや、定期便に観光客が乗船できるツアー企画への提案を引き続きおこなう。</p>